指導書 「未来へひろがる数学 3」 の訂正について

啓林館 編集部

指導書に次のような誤りがございます。

深くお詫びしますとともに，訂正の上ご使用くださいますようお願い申し上げます。

指導書 「未来へひろがる数学 3」 第 2 部詳説 朱註編

ページ	訂正箇所	誤	正
20	縮版左 数学的活動 「ひろげよう」 解説	いろいろな表し方で因数の積に分解していき，最終的に素数，数因数へとつなげていく。	いろいろな表し方で因数の積に分解していき，最終的に素数，素因数へとつなげていく。
75	縮版右 問 3 解答	$\sqrt{2}=1.414\cdots$ より， 縦は，$5+4\sqrt{2}=10.656\cdots$ よって，10.7cm 横は，$7+4\sqrt{2}=12.656\cdots$ よって，12.7cm	$\sqrt{2}=1.414\cdots$ より， 縦は，$5+4\sqrt{2}-6=4.656\cdots$ よって，4.7cm 横は，$7+4\sqrt{2}-6=6.656\cdots$ よって，6.7cm
127	縮版右 問 2 解答	四角形 ABCD は平行四辺形であり，①から，4 つの辺の長さがすべて等しくなるので，ひし形になる。	四角形 PQRS は平行四辺形であり，①から，4 つの辺の長さがすべて等しくなるので，ひし形になる。

指導書 「未来へひろがる数学 3」 第 2 部詳説 別冊 2 コピー資料集

ページ	訂正箇所	誤	正
53	小テスト 4 章① $\boxed{1}$ (2)	(2) 底面が 1 辺 x cm の正方形で，高さが 4 cm の正四角錐の体積 y cm^2	(2) 底面が 1 辺 x cm の正方形で，高さが 4 cm の正四角錐の体積 y cm^3